

先生だより(特別バージョン)

本広報誌でこれまで中等に在籍されている多くの先生方にご登場いただいている「先生だより」。今号では、中等を離任され他校で勤務されている先生 2 名にご寄稿いただきました。

先生だより

平松 はるみ 先生

卒業生・在校生のみなさん、また保護者の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。私は、後期設立の 2012 年から 6 年間勤務しました、平松はるみと申します。1 回生と 4 回生の後期課程担任と国語科の授業を担当しました。1 回生とは常に「はじめての〇〇」の連続で、ルールも運営も K P の方向性も何もないところから、生徒と教員が一緒になって一つずつ積み上げていきました。私の場合、1 回生 4 年生で「学校づくり」と名付けた国語科総合単元学習を行いました。中学と高校の間に「しきり」は必要かについて考え、生徒と教師の間には「インターラクティブ」の関係性を築き、学校行事では「ディズニーランド」のような綿密な計画と明るさで来校者をもてなし、学びでは「協同学習」によって自分の役割や表現を重視する等、種々の教材を通して中等教育学校の理想像を創造しました。その結果、1 回生とは江戸時代の旗振りを学んで「グローバルフレフレ」という情報伝達実験を神戸一帯で行い、4 回生とは合唱の好きな附属生のため

に応援歌を作りました。私が勤務した 6 年間はイメージ通りの学校になっていきましたが、現在の附属はどうですか。また、卒業生のみなさんは、附属生らしさを生かして「今」を生きていますか。

私は 4 回生の卒業と同時に県立高校に戻り 3 年間勤務した後、管理職になりました。今春から兵庫県立あわじ特別支援学校の校長を務めています。学校は世の中でブラック企業のように言われ、教員志望者が激減し、さまざまなクレーム対応に追われ、多様な価値観が混ざり合って、実際のところ問題は山積しています。私自身、管理職になることも特別支援学校に配属されることも希望したわけではありませんが、困ったり落ち込んだりすることたびたびあります。しかし、「任されたからにはできるだけことをやろう」、「任せてよかったと言ってもらえるように頑張ろう」と思ってなんとか取り組んでいます。論語の中に、「子曰く、之を知る者は之を好む者に如かず、之を好む者は之を楽しむ者に如かず。」(『論語』雍也第六)という言葉があります。(1 回生と 4 回生のみなさんは習いましたよね?) 働いている卒業生のみなさん、好きになれるほど自分の仕事がわかってきましたか。仕事を楽しいと思える領域になるまでには時間がかかるでしょうが、附属で培った前向きさがあれば大丈夫。時々愚痴を言いながら、周りの人と協力して頑張ってみてください。卒業生のみなさんから連絡をいただいたり、現在の附属生の活躍ぶ



Harumi Hiramatsu

2012 年 4 月に着任、1 回生と 4 回生を担当され、2018 年 3 月に離任。先生ご自身も附属明石中学校の卒業生である。現在は兵庫県立あわじ特別支援学校で校長を務められている。

りを拝見したりすることは、私にとって大きな刺激で明日への活力になります。卒業生のみなさん、附属の友だちで集まるときには、先生たちも誘ってくださいね。

先生だより

小林 理修 先生

神戸大学附属中等教育学校の卒業生のみなさま、お久しぶりの方々も、初めましての方々も、お元気でお過ごしのことと存じます。2回生の後期課程進学とともに初任者として着任し、4回生の卒業とともに離任しました社会科・地理歴史・公民科の小林理修（こばやし みちなお）です。

神大附属中等では、大学に長々と14年間も在籍し、講師経験も特にな私を初任で採用していただき、教員としての基盤をつくる機会を与えてもらったことに深く感謝しております。未熟な私を多面的・多角的に支えていただいた同僚の教職員の先生方や生徒・保護者のみなさまにこの場を借りて改めて御礼申し上げます。

神大附属中等で担当させていただいた最も先進的な仕事は、やはり「社会科」教員としての歴史総合（歴史基礎）の研究開発と、研究部員としてのKPの立ちあげです。とはいえ、初任者として、2回生の担任、世界史や現代社会、政治経済・倫理、前期課程への移行を含めたESDの授業、陸上部や水泳同好会の顧問を担当できたことや、高校生模擬国連のお手伝いをさせていただいたことも、現任校での仕事の大切な基礎となっています。

歴史総合（歴史基礎）では、初任者研修の指導教員でもあった水嶋先生や奥村先生の渾々と湧き出る面白い授業案に目から鱗が落ちることばかりでした。現実の歴史総合は、21世紀を含む同時代史がより充実したものになりました（英訳はModern and Contemporary History）。ロシアやイスラエル、バングラデシュやニューカレドニア、インドやアルゼンチン、そして日本などなど、日々刻々と変化していくグローバルな人々の動きとの「つながり」や、課題を抱える「まとまり」を考えていくことにつなげられる、とても現代的な意義に満ちた科目となったと感じています（授業を受けたみなさまが改めてどのように感じられているか、機会がありましたら是非お聞かせください）。

KPについては、私のなかでは型を身につけるということ为基础として（いきなりオリンピック選手になれなくとも、同じルールのもとで競技はできる）、そのうえにどこまで積み上げができるのかを考えて取り組んでいました。最近、書かせるだけではなく、自分でも書いてみることも必要だと考え、拙いものですが「「歴史総合」の教科書における東アジアを除く近代アジア・アフリカの記述」という研究ノートをまとめました。

現任校では、教科担当としては世界史関連をうけもっていますが、学校全体の仕事としては何と生徒指導と進路指導を主に担当しています。若いみなさまは人間の可能性の大きさを信頼して、生活の持続可能性を確保しつつも仕事の幅を積極的に広げてみてください。

最後に、新課程では、課題解決を見据えるということが重視され、それにかかわる教育実践について見聞きたり自ら試みたりすることも多いです。そのなかで最近ふと考えたことは、問題の渦中にいる人の



Michinao Kobayashi

2013年4月に着任、2回生の担任など、2018年3月まで5年間在籍。現在は自身の母校である東京学芸大学附属高校で勤務されている。

顔が見える議論ができていくか、相手も自分も同じ人間として尊重できているか、ということがやはり根本的に大事なのではないかと思います。何を当たり前のことを思われる方が大半だとは思いますが、自らの教育実践のなかでもっと前面に出すべきだったと反省しておりますことを、この機会に伝えさせていただく次第です。

東京キャンパスツアーが開催される

8月8日(木)、9日(金)の2日間、在校生の希望者を対象とした東京キャンパスツアーが開催され、座談会では7～10回生の卒業生9名に参加いただきました。

在校生57名が参加した今回のツアーは、1日目に東京大学の本郷キャンパスにて卒業生による構内案内が行われたのち、在校生と卒業生がともに夕食をともにし、ホテルにて進路や受験、大学生活などに関する座談会が開催されました。2日目は班に分かれて東京観光を行い、国立科学博物館や東京スカイツリーのほか、「霞が関見学デー」が開催されていた公正取引委員会に訪れた在校生もいたそうです。

座談会に対応いただいた卒業生の中には、自身が在学時に生徒としてこのキャンパスツアーに参加したことがきっかけで進路を決定したメンバーもいたとのことで、学年を超えてバトンが引き継がれており素晴らしい機会になったようです。



参加した在校生の声

実際に東京大学や一橋大学といった超難関大学に通われている方々の話を聞いて、凄い人だなと思う反面、遠い雲の上の人というだけではなく、苦手な科目は赤点だったりというのを聞いて、自分も正しい努力をすることが出来れば入ることは不可能では無いと感ずることが出来ました。(5年生)

夜に東大学生と話した時、意外とみんな普通の人ばかりですごく驚いた。東大といえば夢のまた夢みたいで遠い存在だったけれど先輩の中2の姿と自分は似ているところが多く、自分でも目指せるかなと思うこともあった。今回、東大の存在を身近に感じれたことが大きかった。(2年生)

大学受験の勉強と部活について卒業生に聞き、やはりどちらも頑張るのは必要だけれども、しっかり割り振りしていかなければならないと改めて感じた。さらには自分は切り替えが苦手なので、場所によって自分を切り替えさせるという方法を聞いたときは実際にやってみようと思った。改めて大事だと学んだのは、毎日コツコツやるのが大事だと学んだ。(3年生)



私は今日東大は特別な大学ではなく、努力すればいける学校だと、改めて認識しました。先輩の話などを実際に聞くことで努力の仕方、けじめのつけ方、などとさまざまなことを学びました。先輩の話聞いて、自分に今のうちから進路を考え努力や工夫を重ねることで合格できればいいと思いました。(1年生)



ご協力いただいた卒業生の皆さん、ありがとうございました。今回の東京に限らず、今後も同様のキャンパスツアーが実施される際は多くの卒業生にご参加いただきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いします。

卒業生だより

東尾 真宙さん [中等8回生]

はじめまして、神大附属8回生の東尾真宙です。夏の暑さが落ち着き、秋の涼しさを感じる季節となりましたがみなさんいかがお過ごしでしょうか。

私は現在東京大学工学部の3年生で、日々授業や実験、課外活動に励んでいます。今回卒業生だよりに寄稿する機会を頂いたので、私の大学生活を少しにはなりますがお伝えしたいと思います。

工学部での授業は主に実験を軸にして展開されます。私が所属している化学システム工学科では、有機化学・分析化学・化学工学・量子化学・物理化学・生命化学の6つの分野についての実験が3年生を通して行われます。学生は授業で学んだ知識を、実験を通して再度確認・理解し、卒業研究に向けて化学に関する知見を深めていきます。高校で「化学」という一括りで表されていた学問が、大学では細かく分岐・深化していくのはとても面白いです。

勉強以外の話も少ししたいと思います。大学生になると、中高生の時と比べて一気に色々なことができるようになって、活動の幅や規模が大きく広がります。私の場合、東京の喫茶店でアルバイトをしたり、東京大学の五月祭委員会に所属して、来場者が数万人規模の文化祭を運営したりしました。私は中高の頃も兔原祭実行委員会に所属していたのですが、その頃とは規模も形態も全くといっていいほど違うので、「同じ文化祭でもここまで違うものなのか」と驚いたことが記憶に新しいです。

さて、ここで少し話題を変えて、先日開催された東京大学オープンキャンパスツアーについて話そうと思います。東大オープンキャンパスツアーは毎年中等の前期生を主に対象として開催されており、私も中等生だった際には参加した思い出があります。今回私は東京に進学した附属生という立場で、キャンパスツアー後の附属生たちと座談会をする機会をいただきました。私が卒業した後に入学した生徒もたくさんいましたが、彼らと話しているうちに神大附属特有の空気感（伝わりますか…？）がちゃんと受け継がれていることに気づき、とても嬉しい気持ちになりました。今後も個性豊かな生徒が神大附属に入学してくれると、卒業生として嬉しいです。

最後に、こうして中等の同窓会紙に寄稿する機会をいただけたことを光栄に思います。書く内容を考えるのに少し苦労しましたが、中等時代の私と今の私との違いを確認できるいい機会になりました。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。皆様お元気で、深まる秋を満喫されますことをお祈りしております。



Masahiro Higashio

中等8回生。在校時は卓球部に所属していたほか、兔原祭実行委員を務めた。卒業後は大学院に進学予定。

～同窓会からのお知らせ～

■ ユーカリ会主催 明石の中学校校舎さよならイベント開催について： 附属明石中学校の同窓会「ユーカリ会」より、明石の中学校校舎でのイベントに関するお知らせをいただきました。中等卒業生も参加可能とのことですので、ぜひご興味のある方は当日明石校舎に足をお運びください。

===== ユーカリ会からのお知らせ =====

附属中学校が閉校してからも 2015 年 3 月まで中等教育学校の明石校舎として使用された中学校校舎。これまでユーカリ会で 2 度、校舎でのイベントを開催しましたが、いよいよ今後、校舎へ立ち入る事ができなくなる事が決定致しました。校舎自体が取り壊しになる可能性もあるそうです。

そこで、これまでの感謝を込め、本当に最後のお別れ会を企画致しました。是非、同級生、先輩、後輩、先生、連絡可能な方にお知らせして頂きたいと思います！

！人でも多くの方に来て頂きたく、取り急ぎ日時のご案内のみとなりますが、是非、同級生、先輩、後輩、先生、連絡可能な方にお知らせして頂きたいと思います。



【日 時】11 月 16 日(土) 12:00 受付開始、15:00 閉会 予定
【場 所】(旧)神戸大学附属明石中学校 校舎 南門、北門開放予定

ご家族も参加可能ですので、お誘い合わせの上お越しください。詳細が確定次第、改めてユーカリ会の Facebook、Instagram でお知らせ致します（ユーカリ会の Instagram は右側の QR コードをご参照ください >>> ）。



■ 住吉東京同窓会の懇親会開催について：毎年秋に開催されている、神戸大学附属住吉東京同窓会が今年も開催されます。昨年度は 90 名ほどの卒業生が参加し、同じ学び舎非常にあたたかい雰囲気での懇親会となりました。附属住吉小、中学校の様々な卒業生と関わりを持てる貴重な機会ですので、関東在住の方は是非ご参加ください。

===== 住吉東京同窓会からのお知らせ =====

【日 時】11 月 17 日(日) 12:15～14:45
【場 所】東京グリーンパレス 地下 1 階宴会場『ふじ』 立食ビュッフェ形式（アルコール飲料有）
【会 費】（中等卒業生向け価格）社会人：5,000 円、学生：2,500 円
【参加申込】<https://forms.gle/Lh5ZiZAauhUhSVMKA> よりご入力ください。

また、講演会や演奏会、個展などの企画を近々行う予定がある方は、当日の会場受付にチラシなどを置き、皆様にご案内させていただきますので、ご希望される方は以下のアドレスまでご連絡ください。

住吉東京同窓会 連絡先：2.fuzoku.sumiyoshi.tokyo.alumni@gmail.com

多くの卒業生の皆様にご参加頂きますよう、よろしくお願い致します。

学 校 N E W S 短 信

「臨海実習」が実施される

7月30日(火)から8月2日(金)の4日間、琉球大学の熱帯生物圏センター 西表研究施設にて臨海実習が実施され、3年生～5年生の在校生21名が参加しました。世界自然遺産に指定されている西表島にて、一般的な観光ツアー

では訪れることのできない場所で琉球大学の内貴先生から貴重なお話を聞けたようです。

コーラス部が前・後期ともに全国大会へ

コーラス部が関西合唱コンクールで金賞を受賞し、全日本合唱コンクールへの出場を決めました。前・後期揃っての出場は11年ぶりです。そのほか、中等生の活躍は以下の記事をご覧ください。在校生を共に応援しましょう！

中等生の活躍!!

(一部抜粋)
2024年9月 ver.

■ 男子テニス部

近畿中学生テニス選手権大会 男子ダブルス
兵庫県高等学校テニス新人大会 男子シングルス

優勝
第3位

■ 陸上競技部

近畿中学校総合体育大会 共通男子 3000m

第3位

■ コーラス部

関西合唱コンクール 中学生同声の部
関西合唱コンクール 高等学校部門Bグループ

金賞(全国大会出場権)、理事長賞
金賞(全国大会出場権)

■ ESS 部

化学グランプリ 2024

金賞、銀賞

■ KP

Global Link Singapore 2024 Basic Science

Fine Work Prize

■ FIT

化学グランプリ 2024
PDA 全国中学校即興型英語ディベート合宿・大会 2024

金賞、銀賞
10位、ベストPOI賞、
ベストディベーター賞

【編集後記】

今回ご寄稿いただいた平松先生の国語の授業的一幕。(平松先生)「それではA君、教科書〇〇ページを読んでください。あ、そういえばA君、あなた読書感想文××さんの写したでしょ。そんなことするくらいなら、小黑みたいに出さない方がよっぽど潔い！」在校時は読書が大嫌いだった私ですが、今は本の虫、去年は年間100冊読破しました。当時から平松先生の指導通り、読書に勤しんでいれば、もっと立派な大人になっていたと思うのですが…(反省)。今年も100冊を目指していますが、気が付けば残り3カ月。少しペースを上げて、今年中にやりたいことは積み残さないようにしたいものです。

(次号は2024年12月31日発行予定です)